



■石川沢川太陽光発電所落成
～新しい中山間地域の取り組みへ～



■地滑り等の緊急現地調査(五位山地区)
～危険な箇所・お困り事に対応します～



■【東京にて】富山県へ移住を勧める街宣
～越中福岡の菅笠を被って～



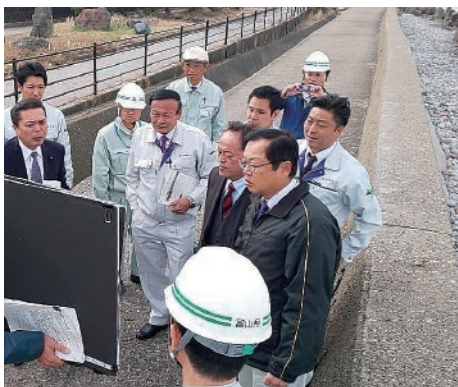
■農業問題視察(射水市)
～スマート農業の推進を～



■高岡市福岡町沢川 田植え
～中山間地域の農業を支援～



■県内の大学生との意見交換会
～若者の政治参加を促進～



■自民党政調会県内視察(滑川市)
～海岸の修復に向けて～



■自民党政調会県内視察(魚津市)
～地すべり・土砂災害を防ぐ～



■春の交通安全週間 出発式

花には水を人には愛を



県議会を傍聴・視聴しませんか?

県の予算や条例などがどのように決められているのか、気になりませんか?
インターネットやケーブルテレビで本会議を視聴できますので、ぜひご覧になってください。

インターネット 議会中継

QRコード 本会議の生中継をご覧いただけます。
また、過去の本会議映像もご覧いただけます。
www.toyama-pref.stream.jfit.co.jp/

ケーブルテレビによる県議会中継

QRコード チャンネルはこちらから確認できます。
www.pref.toyama.jp/sections/0100/relay/summary.html

来てよし!住んでよし!育ててよし!の富山県実現に向けて誠を尽くします。

富山県議会議員

川島 国

2019
秋号

県政報告
発行者 富山県議会議員会 川島 国

時下ますますご清祥の段、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、大所高所から叱咤激励いただいておりますことに、心からの感謝を申し上げます。ふるさと富山に所縁の深い万葉集を出典とする新しい令和の時代となり、富山県においては、大相撲の朝乃山やNBAの八村塁選手や馬場雄大選手の活躍で、東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツ熱で盛り上がっているところであります。加えて、北陸新幹線が開業して5年が経過する中、人・もの・お金の交流が拡大し、富山県の発展への可能性も拡大している実感が得られるようになってきました。一方で、豪雨や台風等の自然災害の脅威に備えていく県土強靱化の取り組みも益々重要になり、県議会における新しい時代の政策提言や議会活動の進化も問われているものと感じます。新しい令和の時代においても、来てよし!住んでよし!育ててよし!の富山県実現のために邁進していきますので、引き続きのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等】

【自民党・部会】

- ◆自民党富山県連政務調査会副会長
- ◆企画財務部会 部長

【県議会委員会】

- ◆議会運営常任委員会委員
- ◆厚生環境常任委員会委員
- ◆総合交通・県土強靱化特別委員会委員

【自民党調査会】

- ◆消防調査会
- ◆雇用問題調査会
- ◆農業問題調査会
- ◆医療問題調査会
- ◆水産問題調査会
- ◆産業問題調査会
- ◆中山間地域振興調査会
- ◆私学教育調査会
- ◆消防調査会

【議員連盟・自民党】

- ◆商工議員連盟
- ◆自衛隊支援議員連盟
- ◆県西部地域産業活性化議員協議会
- ◆ボーイスカウト議員連盟
- ◆オイスカ議員連盟
- ◆日露友好議員連盟
- ◆看護議員連盟
- ◆宅建議員連盟

【議員連盟・超党派】

- ◆スポーツ振興議員連盟
- ◆山村振興議員連盟
- ◆砂防促進議員連盟
- ◆拉致議員連盟「救う会」
- ◆観光振興議員連盟
- ◆日台友好議員連盟
- ◆日中友好議員連盟

【あなたのご意見・ご要望をお待ちしております】

富山県議会議員 川島国事務所
〒939-0116
富山県高岡市福岡町下藪2243-1
TEL 0766-64-1192
FAX 0766-64-1193
email info@kawashimakuni.com

川島 国ホームページ
kawashimakuni.com

スマートフォン
から見れます!



出張もメール相談も
お気軽にどうぞ!





豪雨・台風による甚な被害に対応



黒石川の改修について

先月に発生した豪雨による被害状況をふまえ、繰り返し発生する豪雨・台風に対して、緊急的な対策をどのように講じていくのか？

Question

国の予算を活用し、早期に抜本的な河川改修を進める必要があると考えるが、進捗状況や課題を踏まえ、どのように取り組んでいくのか？



Answer

県としては、今後も豪雨が繰り返し発生する恐れがあることから、今回の溢水箇所における緊急的な対策が必要と考えている。現在、溢水箇所から下流側について、現況の堤防の高さの測量を行っており、その結果を踏まえ、必要な個所の暫定的な堤防の高上げを行うほか、河道内を調査した上で、堆積土砂の除去などに取り組むと考えている。

黒石川については、平成10年に住宅への浸水被害があった小矢部市岡(おか)地内において、国の交付金を活用し、河川改修を進めており、これまでに、延長約800mのうち約530mの河道拡幅や橋梁架け替え等の工事を完了している。引き続き、残る約270mの工事を進めるとともに、今回浸水被害のあった高岡市福岡町本領(ほんりょう)地内の約75mについても、今後、設計を行い、改修に取り組むと考えている。

黒石川の抜本的な改修については、高岡市福岡町荒屋敷(あらやしき)地内において、これまでも地元と事業実施に向けた調整を進めてきたところであり、現在、地元の意見を聞きながら、小矢部川合流点の約1km上流から福岡中学校までの720m区間において設計を進めているところである。この区間については、事業用地にかかる地権者が多くまた、河道拡幅に伴い、農道の付け替えが必要となるなど、地元関係者との協議に時間を要すると見込まれることから、高岡市と連携しながら、早期に工事に着手できるよう、引き続き、調整を進めてまいりたい。

県としては、地域の安全・安心の確保のため、地元の協力を得ながら、黒石川の河川改修を着実に進めてまいりたい。

福岡駅・西高岡駅のエレベーター設置へ



駅舎のエレベーター設置について

あいの風とやま鉄道やJR支線における駅舎のエレベーター設置・バリアフリー化は、年次計画を立て順次進めていくべき大事な事業であり、県が主導して、鉄道事業者や自治体による取組みを強化すべきと考えるがどうか？

Question

駅のバリアフリー化を進める国の基本方針では、駅へのエレベーター設置は、原則として1日の平均利用者数が3千人以上の駅を優先して整備するとされ、



Answer

国の補助制度があり県も協調して補助している。あいの風とやま鉄道においては、3千人以上の駅について、国の補助も活用しながら、すでにエレベーターが設置されているが、3千人未満の駅にあっては、国の方針において、地域の実情を踏まえて可能な限りバリアフリー化を実施するとされているものの、全国的には3千人以上の駅でも未整備の駅が383駅あり、そこと比較すると、優先度は低い状況にある。

一方、宇奈月温泉駅のように外国人旅行者が多い等の特殊性が認められる場合にも国のバリアフリー化の対象となることから、まずは、鉄道事業者及び地元市町村において、地域の要望を把握され、当該市町村の支援も含め検討いただくとともに、利用者増に向けた地元の方の利用促進や旅行者等の誘致を図ることが重要であると考えている。

県としては、駅のバリアフリー化について、私自身も国土交通省に出向き、3千人という基準の大幅な引き下げや予算の思い切った拡充などを強く要望したところ、国交省としてもその方向で要求したいということであったが、残念ながら、財務省の壁もあって今年度予算では実現しなかった。県としては、引き続き、熱意ある市町村や事業者の要望、国の検討状況なども改めて注視しつつ、バリアフリー化の推進にしっかりと取り組んでまいりたい。

県としては、駅のバリアフリー化について、私自身も国土交通省に出向き、3千人という基準の大幅な引き下げや予算の思い切った拡充などを強く要望したところ、国交省としてもその方向で要求したいということであったが、残念ながら、財務省の壁もあって今年度予算では実現しなかった。県としては、引き続き、熱意ある市町村や事業者の要望、国の検討状況なども改めて注視しつつ、バリアフリー化の推進にしっかりと取り組んでまいりたい。

呉西地区にアリーナ施設を



多目的施設について

武道館機能を有する多目的施設の立地場所の検討にあたっては、地域経済活性化の推進や広域回遊性を確立するなど、県東部と県西部のバランスある二極分散型発展に重点を置くべきと考えるがどうか？飛越能観光圏を充実する観点からも新高岡駅周辺を中心とした県西部への立地を希望するが、富山駅周辺に一極集中することが本県全体の発展に繋がるのか検討すべき。

Question

本県の発展のためには、新川・富山・高岡・砺波の各地域の特色を踏まえつつ、地域バランスも考慮して施策を進めていくことが重要であると考えており、これまでも地域の特色をいかした産業の振興等の地域経済の活性化や観光資源の発掘・ブラッシュアップ、新高岡駅発着の旅行商品の造成も含めた広域周遊観光の推進、さらには歴史遺産の整備、文化イベントの実施等に取り組んできたところである。また、県立大学や新湊マリーナがあるほか、勝興寺については国宝の指定に取り組んでいる。



Answer

武道館機能を有する多目的施設の立地場所については、健康・スポーツ環境充実検討会の議論の中で、富山駅から徒歩圏内又は富山駅周辺など県内各地から参加しやすい場所が望ましいという意見が多かったが、立地場所の検討にあたっては、まずは県内各地に住んでおられる県民の皆さんにも、スポーツ大会やイベントに参加する県外の利用者の方にも利用しやすく、参加しやすい場所であることが求められると考えている。

今後、基本計画策定委員会を設置し、こうした意見を十分踏まえつつ、県内各地からの利便性が高く、集客しやすい立地場所の選定について、候補地の比較検討をしっかりと行っただうえ、機能・規模などの整備計画や円滑で効率的な管理運営計画等の具体的な検討を進め、県議会ははじめ幅広い県民の皆様のご意見を丁寧にお聴きしつつ、一方で北陸新幹線の敦賀開業もあるので、スピード感を持って検討を進め、今年度末までには基本計画を取りまとめたと考えている。

武道館機能を有する多目的施設の立地場所については、健康・スポーツ環境充実検討会の議論の中で、富山駅から徒歩圏内又は富山駅周辺など県内各地から参加しやすい場所が望ましいという意見が多かったが、立地場所の検討にあたっては、まずは県内各地に住んでおられる県民の皆さんにも、スポーツ大会やイベントに参加する県外の利用者の方にも利用しやすく、参加しやすい場所であることが求められると考えている。

今後、基本計画策定委員会を設置し、こうした意見を十分踏まえつつ、県内各地からの利便性が高く、集客しやすい立地場所の選定について、候補地の比較検討をしっかりと行っただうえ、機能・規模などの整備計画や円滑で効率的な管理運営計画等の具体的な検討を進め、県議会ははじめ幅広い県民の皆様のご意見を丁寧にお聴きしつつ、一方で北陸新幹線の敦賀開業もあるので、スピード感を持って検討を進め、今年度末までには基本計画を取りまとめたと考えている。

ものづくり富山の拡充発展へ



仮称：ものづくり富山・物流拡大ネットワークへ

高岡市の鉄道機器メーカーがミャンマーを横断する主要鉄道の再整備事業に参画することとなったが、更なる企業誘致や新製品開発、物流拡大に繋げるため、県産業技術研究開発センター・県総合デザインセンターの機能拡充や富山新港の機能強化による相乗効果を発信し、情報を共有・交換する場として、官民協働の「仮称：ものづくり富山・物流拡大ネットワーク」を県が主導して構築すべきと考えるがどうか？

Question

本県は、自然災害の少なさ、豊富な水や廉価な電力、整備された交通網、充実した試験研究機関や高等教育機関、産学官連携による手厚い支援体制、日本海側屈指の産業集積など大変優れた立地環境や産業基盤を有している。県では、こうした魅力を、企業立地パンフレットや東京・名古屋等での企業立地セミナー、伏木富山港利用促進セミナーなどにより、総合的かつ積極的に発信している。



Answer

また、誘致対象企業の県内視察にあたっては、用地だけでなく、研究機関や大学、港などを案内するとともに、地元企業とのマッチングも行い、新製品開発と物流拡大がセットで進むよう、きめ細かく取り組んでいる。

委員ご提案のネットワークの構築については、既存の組織として、県、市町村、業界団体、経済団体、学術機関、産業支援機関などで組織する富山県地域経済牽引事業促進協議会と物流関連業者を中心とする伏木富山港ポートセールス事業促進協議会が、どちらも事務局が立地通商課にあるので、それぞれの情報を共有し、企業訪問につなげるなど一体となって企業誘致や物流拡大に取り組んできている。今後とも、ご提案の趣旨を踏まえ、今後さらに市町村や関係団体等と一体となって、さらに連携を深めながら、取組みを強化してまいりたい。

また、誘致対象企業の県内視察にあたっては、用地だけでなく、研究機関や大学、港などを案内するとともに、地元企業とのマッチングも行い、新製品開発と物流拡大がセットで進むよう、きめ細かく取り組んでいる。

委員ご提案のネットワークの構築については、既存の組織として、県、市町村、業界団体、経済団体、学術機関、産業支援機関などで組織する富山県地域経済牽引事業促進協議会と物流関連業者を中心とする伏木富山港ポートセールス事業促進協議会が、どちらも事務局が立地通商課にあるので、それぞれの情報を共有し、企業訪問につなげるなど一体となって企業誘致や物流拡大に取り組んできている。今後とも、ご提案の趣旨を踏まえ、今後さらに市町村や関係団体等と一体となって、さらに連携を深めながら、取組みを強化してまいりたい。

